

ありだし 社協 だより

あがらが主役
あがらが創る
あがらのまち

2021
7



小学校6年生児童代表が
毎月将来の夢を発信！
10年後、成長した姿を
地域の皆さんに発信します！



将来の夢

箕島小学校 6年生



有田市社会福祉協議会
HPはこちら



NEXT ▶ 次号は、港・初島小学校から「夢」発信！

社協だよりは、「赤い羽根共同募金」配分金と寄付つき商品事業「JUST」による寄付金の一部で発行させていただいています。

決算概要

A 収入の内訳

(単位：円)

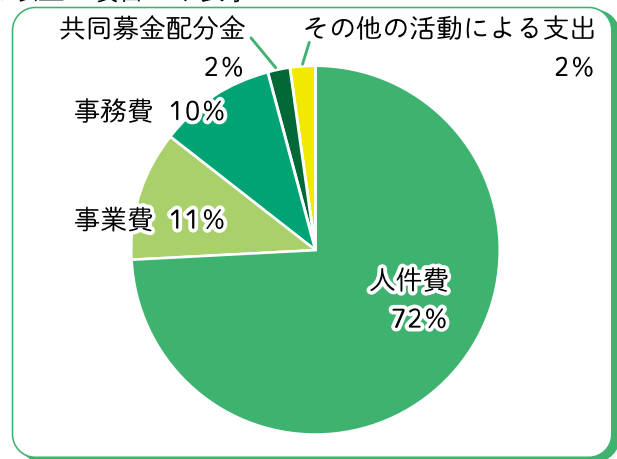
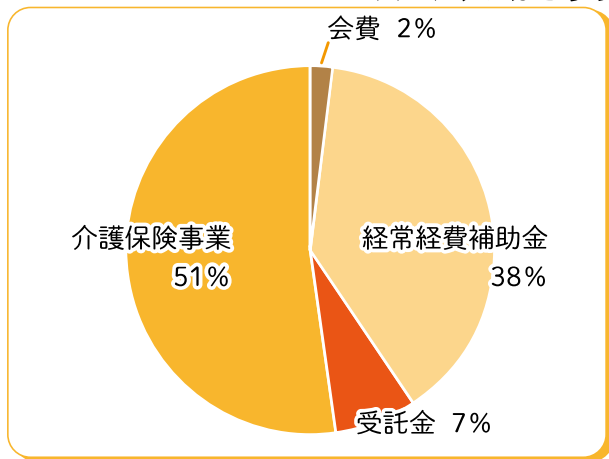
会費	2,596,341
寄付金	519,679
経常経費補助金	46,417,754
受託金	8,707,432
貸付事業収入	2,000
事業収入	589,610
負担金	63,700
介護保険事業	62,897,844
受取利息配当金	2,541
その他の収入	204,113
基金積立資産取崩収入	892,203
積立資産取崩収入	447,300
合計	123,340,517

B 支出の内訳

(単位：円)

人件費	87,594,888
事業費	13,635,553
事務費	12,341,901
共同募金配分金	2,289,622
助成金	3,000
負担金	442,000
その他の支出	89,250
固定資産取得支出	1,764,440
基金積立資産支出	658,267
積立資産支出	1,247,400
その他の活動による支出	2,235,960
合計	122,302,281

※ グラフはどちらも2%以上の項目のみ表示



C サービス区分ごとの内訳

(単位：円)

サービス区分	収入決算額①	支出決算額②	収支差額③=①-②
1 法人運営事業	42,136,257	42,136,257	0
2 ボランティア活動事業	164,890	164,890	0
3 心配ごと相談所事業	21,128	21,128	0
4 福祉サービス利用援助事業	7,408,162	7,429,207	-21,045
5 訪問入浴事業	0	6,075,765	-6,075,765
6 居宅介護支援事業	13,635,135	12,697,969	937,166
7 通所介護事業	65,223,483	59,025,603	6,197,880
8 善意銀行・福祉基金事業	1,411,882	1,411,882	0
9 共同募金配分金事業	2,289,622	2,289,622	0
10 生活福祉資金貸付事業	1,487,000	1,487,000	0
合計	133,777,559	132,739,323	1,038,236

※ サービス区分間における内部取引額 10,437,042 円 を含んでいます。

※ 訪問入浴事業については、サービス提供体制が整わず令和2年8月31日付で事業廃止いたしました。そのため収入は0円になり、前期末支払資金残高 6,075,765 円は通所介護事業に繰入しております。

重点目標について

1 福祉教育の充実

子どもたちが地域と関わることで、地域で暮らす人の生き方を学び、役割を知ることができるようなプログラムを実施し、学校を拠点とした福祉教育の実践に地域の多様な方の参画を得られるような取組を行いました。

新型コロナウイルス感染防止を最重視し、これまでのような大規模な交流会等は開催せず、新たな方法でつながりづくりにチャレンジしました。また、従来の「高齢者理解」や「認知症理解」というテーマにこだわらず、「新型コロナウイルス」を今ある課題として捉え、授業題材とすることで「共に生きる」視点を導いた取組にも挑戦しました。

施設の利用者に
ZOOMを使用した
インタビュー
(保田小学校 6年生)



箕島高校の課題研究授業の様子



和歌山大学観光学部箕島 LIP による
「オンライン音楽会」

2 地域がつながる取組の推進

令和2年度から重点事業として取組みを始めた、「地域共生プラットフォームづくり」。

地域の中で活動するそれぞれの立場の方がお互いを知る機会や、同じ課題を抱えている方々が出会う場づくりを行っています。こういった場を広げ、重ねていくことで、地域共生社会として多様性や寛容性のある地域社会を目指します。



『発達障害 × はたらくこと』講演会
同友会との共催で開催

3 相談支援事業の充実・発展

毎月1回、地域福祉ネットワーク会議において、地域の福祉課題、生活課題についての話し合いの場を持ち、昨年度から「地域協働促進会議」という組織を発足し、小規模法人のネットワーク化による協働推進事業補助金を活用して「災害時の事業所自助力強化と事業所間連携及び地域との協働の在り方」をテーマに取組を進めてきました。

今年度はさらに参画法人を増やし、改めて災害に対する知識の習得や体制づくり等を学びなおし、地域住民の防災意識の向上にも取り組みました。



福祉施設と防災に
ついての学習会



『市民防災講演会』

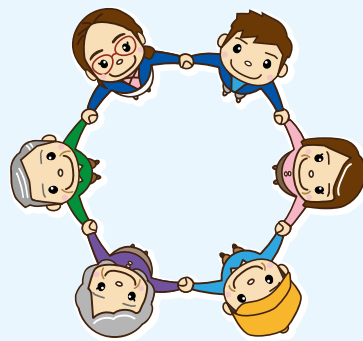
本会の活動に対し、市民の皆様方からいただいております温かいご支援に対し厚くお礼申し上げます。

社会福祉協議会は地域福祉を推進する団体です。地域住民を主体として、地域のいろいろな人や団体・組織等と一緒に考え、行動し、地域に暮らす誰もが「ふ」だんの「く」らしの「し」あわせを感じられる暮らしのために、さまざまな活動をしていく民間団体で、社会福祉法に基づき全国で設置されています。

本会は、福祉サービス利用援助事業をはじめ、心配ごと相談所事業、車いすの貸出事業などを実施しております。また、ふれあいと温もりのあるまちづくりのため、助け合い活動やボランティア活動を一層推進します。災害時においては災害ボランティアセンターの運営を行うため、事前のボランティア登録及び研修会も実施しております。

また、「第2次有田市地域福祉活動計画」を策定し、地域のつながりの希薄化、社会的孤立などの重点課題解決に向けて、「子どもたちがつなぐ未来への希望 福祉の種まきプロジェクト」や「支援ネットワークの強化事業」を実施し、全力をあげて取り組んでいるところです。

これらを支える資金として毎年市民の皆様方に御支援を賜っておりますが、本年度につきましても、8月よりご協力をお願い致します。



善意銀行 だより

「社会福祉に役立てて下さい」と次の方々から総額 86,456 円（令和2年12月1日から令和3年5月末日現在まで）の善意のご寄付をいただきました。

- ・ にこにこ会
- ・ ENEOS 労働組合 和歌山支部
- ・ 初島幼稚園 こども達のクリスマス献金
- ・ 河原貴博司法書士・行政書士事務所
- ・ Ganbaruman65
- ・ 紀の国山草会

（順不同、敬称略）

以上の方々のほか匿名を希望される皆様からも預託をいただきました。寄付金につきましては、地域福祉活動の推進に使用させていただきます。ありがとうございました。

「なごみ祭り・ボランティアフェスティバル」の 中止 について

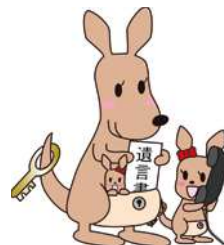
例年7月に開催しておりました「なごみ祭り・ボランティアフェスティバル」については、今年度も新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から中止とさせていただきます。地域の皆さま、関係の皆さまにはご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

預けて安心！自筆証書遺言書保管制度のご案内

法務局では自筆証書遺言に係る遺言書を保管する制度が新たに設けられ、令和2年7月10日（金）から運用を開始しています。

本制度では、自筆証書遺言に係る遺言書を法務局で預かることで、紛失等のトラブルが解消され、家庭裁判所の検認も不要となります。

ご自身の財産をご家族へ確実に託す方法の一つとして自筆証書遺言を検討される方はぜひご活用ください。



お問い合わせ先 和歌山地方法務局 073-422-5131(代表)